

ロボット・テクノロジー 関連株ファンド ーロボテックー

運用報告書（全体版） 第 9 期

（決算日 2020年3月13日）
（作成対象期間 2019年9月14日～2020年3月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	約9年9カ月間（2015年12月7日～2025年9月12日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ．アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ．ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5 期末(2018年 3 月13日)	12,898	300	10.7	11,823	5.9	－	99.0	389,377
6 期末(2018年 9 月13日)	12,761	0	△ 1.1	12,283	3.9	－	98.8	390,553
7 期末(2019年 3 月13日)	12,294	0	△ 3.7	12,107	△ 1.4	0.0	99.6	345,939
8 期末(2019年 9 月13日)	12,812	0	4.2	12,519	3.4	－	99.6	294,492
9 期末(2020年 3 月13日)	10,399	0	△18.8	9,997	△20.1	－	98.5	171,257

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

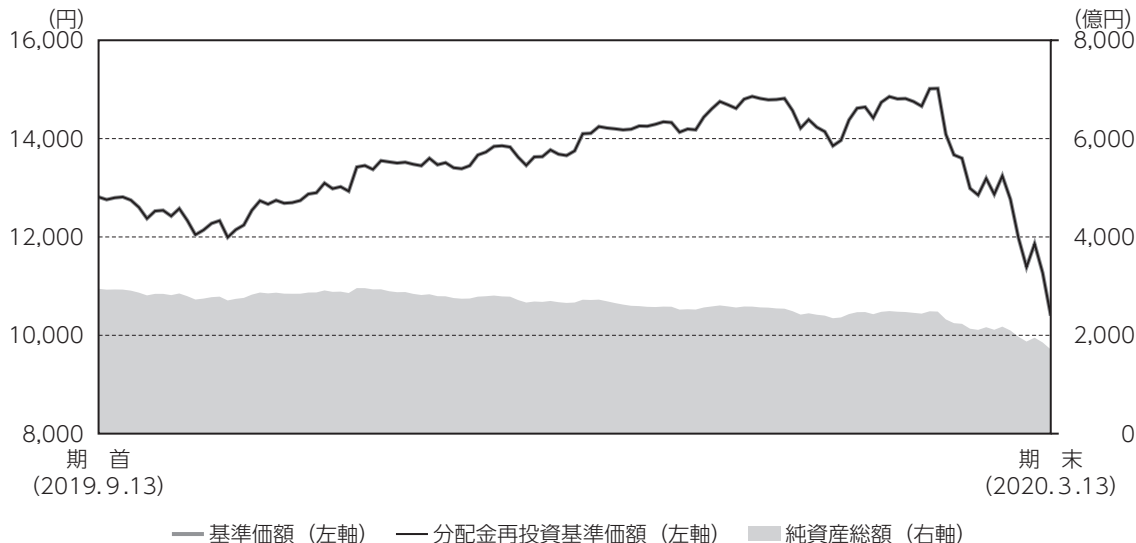
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：12,812円

期末：10,399円（分配金0円）

騰落率：△18.8%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主として米国、日本、欧州などの保有銘柄の全般的な株価下落がマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 組 益 証 券 入 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年 9 月13日	円 12,812	% －	12,519	% －	% －	% 99.6
9 月末	12,424	△ 3.0	12,338	△ 1.4	－	99.4
10月末	13,021	1.6	12,832	2.5	－	99.6
11月末	13,854	8.1	13,277	6.1	－	100.1
12月末	14,327	11.8	13,722	9.6	－	98.4
2020年 1 月末	14,142	10.4	13,641	9.0	－	99.6
2 月末	12,988	1.4	12,656	1.1	－	99.3
(期末) 2020年 3 月13日	10,399	△18.8	9,997	△20.1	－	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.9.14～2020.3.13)

■グローバル株式市況

グローバル株式市場は下落しました（現地通貨ベース）。

グローバル株式市場は、当作成期首から2020年1月中旬にかけて堅調に推移しました。F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げを行ったこと、企業の決算発表が予想を上回る結果となったこと、米中が貿易交渉の第1段階で合意したことなどが支援材料となりました。しかし1月下旬より、中国で新型コロナウイルスの感染が拡大すると下落に転じました。2月に入り株式市場は徐々に持ち直しましたが、新型コロナウイルスの流行が中国以外の国々にまで拡大したことを受け再度下落に転じ、3月に入るとその流れが加速しました。

株価指数の推移



（指数は当作成期首を100として指数化しています。）

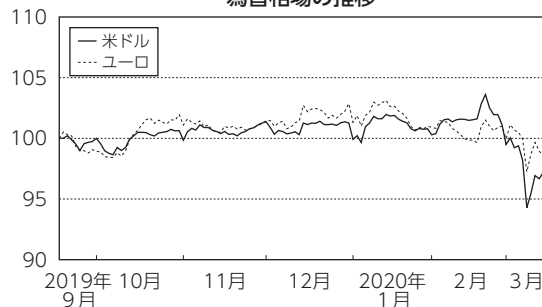
■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

為替相場は、米ドル、ユーロともに円に対して下落しました。

米ドル円相場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけておおむね上昇基調で推移しました。米中通商交渉の進展から市場のリスク選好姿勢が強まったことなどが上昇要因でした。その後当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から下落しました。

ユーロ円相場は、当作成期首から2020年1月中旬にかけておおむね上昇基調で推移しました。米中通商交渉や英国のE U（欧州連合）離脱問題への懸念が後退したことが市場心理の改善につながり、上昇しました。その後当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から下落しました。

為替相場の推移



（為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。）

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、さまざまなロボット関連産業の企業に投資します。「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業、「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業、「助ける・守る」では、ロボット外科手術やデジタルヘルスなどを手掛ける企業等に注目しています。今後は、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことでファンドの成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.9.14~2020.3.13)

■当ファンド

当ファンドは、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）を高位に組み入れました。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コム、キーエンスのような大型株からニューベイシブやシリコン・ラボラトリーズなどの中小型株にも幅広く投資しました。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資しました。

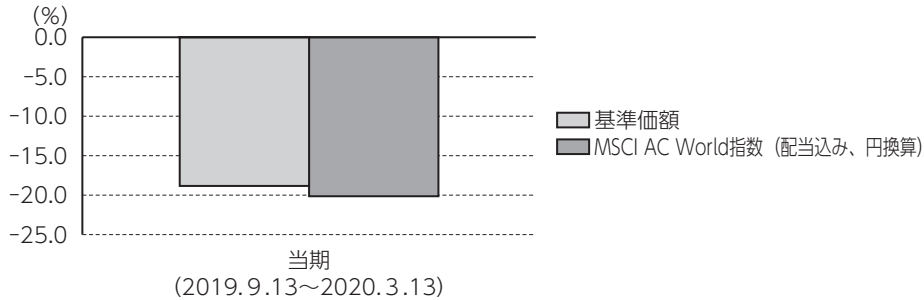
当作成期は、ドイツのソフトウェア企業TeamViewer、米国のヘルスケア企業ジンマー・バイオメット・ホールディングス、バリアンメディカルシステムズなどを新規に組み入れました。一方、ストライカーによる買収を受けてライト・メディカル・グループを全て売却しました。その他では、協働ロボット大手のテラダイン、医療機器メーカーのデクスクコムなどのパフォーマンスが良好だった銘柄を一部売却し利益を確定しました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2019年9月14日 ～2020年3月13日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（%）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,075

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行います。「作る」では、ロボット産業におけるリーディングカンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、ビジョンシステムなど自動運転の実現を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術やデジタルヘルスなどを手掛ける企業などに注目しています。今後は、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことでファンドの成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.9.14~2020.3.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	83円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,542円です。
(投 信 会 社)	(26)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(55)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	83	0.615	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

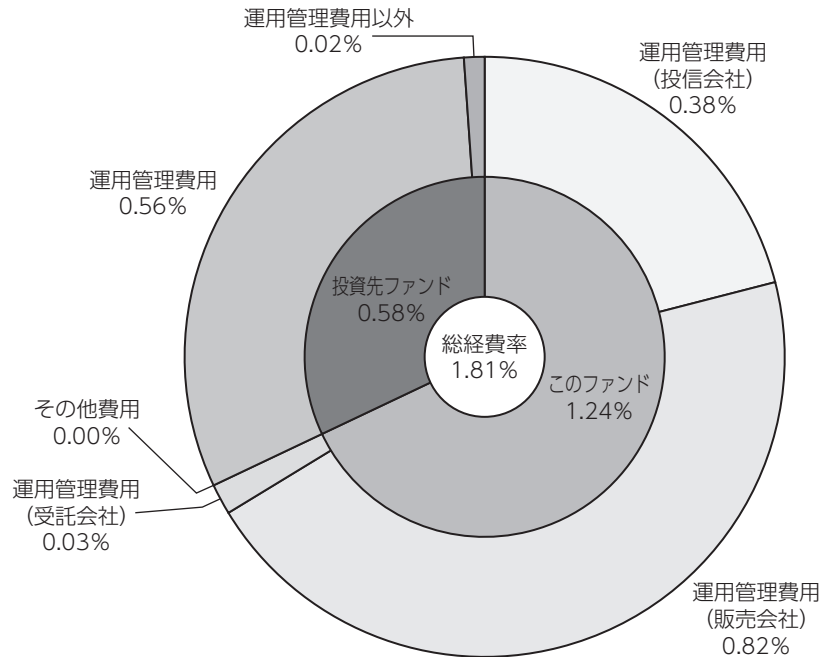
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



総経費率（①+②+③）	1.81%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年9月14日から2020年3月13日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国		千口	千円	千口	千円
内	アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	—	—	58,050,628.126	93,200,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口	千円	%
	139,212,504.808	168,628,107	98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末
	口 数	口 数 評 価 額
	千口	千口 千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	947	947 948

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	168,628,107	97.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	948	0.0
コール・ローン等、その他	4,773,851	2.8
投資信託財産総額	173,402,907	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	173,402,907,478円
コール・ローン等	4,773,851,811
投資信託受益証券(評価額)	168,628,107,073
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	948,594
(B) 負債	2,144,996,788
未払解約金	521,774,422
未払信託報酬	1,622,110,116
その他未払費用	1,112,250
(C) 純資産総額(A－B)	171,257,910,690
元本	164,679,051,560
次期繰越損益金	6,578,859,130
(D) 受益権総口数	164,679,051,560口
1万口当り基準価額(C／D)	10,399円

* 期首における元本額は229,862,793,483円、当作成期間中における追加設定元本額は8,842,767,581円、同解約元本額は74,026,509,504円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,399円です。

■損益の状況

当期 自2019年9月14日 至2020年3月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 748,549円
受取利息	149,895
支払利息	△ 898,444
(B) 有価証券売買損益	△ 38,623,205,324
売買益	6,710,869,297
売買損	△ 45,334,074,621
(C) 信託報酬等	△ 1,623,254,673
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 40,247,208,546
(E) 前期繰越損益金	11,231,195,251
(F) 追加信託差損益金	35,594,872,425
(配当等相当額)	(22,948,980,661)
(売買損益相当額)	(12,645,891,764)
(G) 合計(D＋E＋F)	6,578,859,130
次期繰越損益金(G)	6,578,859,130
追加信託差損益金	35,594,872,425
(配当等相当額)	(22,948,980,661)
(売買損益相当額)	(12,645,891,764)
分配準備積立金	11,231,950,094
繰越損益金	△ 40,247,963,389

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	22,948,980,661
(d) 分配準備積立金	11,231,950,094
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	34,180,930,755
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	34,180,930,755
(h) 受益権総口数	164,679,051,560口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

＜補足情報＞

当ファンド（ロボット・テクノロジー関連株ファンド ーロボテックー）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年3月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年9月14日～2020年3月13日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年3月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

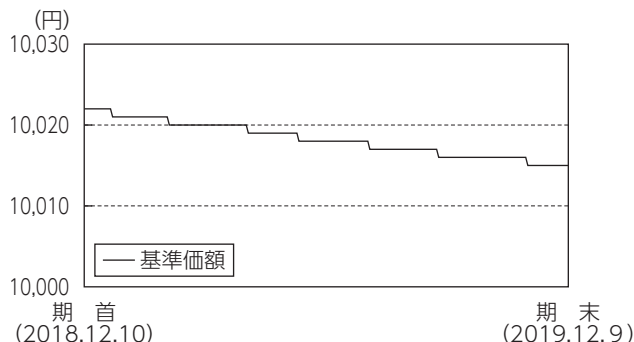
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
12月末	10,022	0.0	—
2019年 1 月末	10,021	△0.0	—
2 月末	10,020	△0.0	—
3 月末	10,020	△0.0	—
4 月末	10,019	△0.0	—
5 月末	10,018	△0.0	—
6 月末	10,018	△0.0	—
7 月末	10,017	△0.0	—
8 月末	10,017	△0.0	—
9 月末	10,016	△0.1	—
10月末	10,016	△0.1	—
11月末	10,015	△0.1	—
(期末)2019年12月 9 日	10,015	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 250,003	千円 — (250,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 250,003		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 103,888,808	% 100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	103,888,808,252円
コール・ローン等	103,888,808,252
(B) 負債	200,442,764
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
(C) 純資産総額(A－B)	103,688,365,488
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
(D) 受益権総口数	103,532,314,258口
1万円当り基準価額(C／D)	10,015円

* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解約元本額は136,021,893,199円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　ロボテック－947,268円、ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド　インドの匠－29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）998円、ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　ロボテック－（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）　ロボテック（年1回）－（為替ヘッジあり）3,985円、iFreeレバレッジ　S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジNA S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド（年2回決算型）658,945円、ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信－日経平均ダブルインパース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信－TOP I Xレバレッジ（2倍）指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信－TOP I Xダブルインパース（－2倍）指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信－日経平均インパース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信－TOP I Xインパース（－1倍）指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信－J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信－J P X日経400インパース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信－J P X日経400ダブルインパース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2017－06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2017－06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－10 997円、先進国トリプルターン戦略ファンド（リスク抑制型・適格機関投資家専用）6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド（適格機関投資家専用）10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド（金利トレンド判断付き／適格機関投資家専用）179,433,743円、ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－SLT

レード－186,241,301円、ダイワ／モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド－成長の雄鷹（つちおと）－5,020,480円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ／アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド（適格機関投資家専用）13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース（毎月分配型）595,106円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）987,373円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年1回決算型）9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）　ロボテック（年1回）－100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）1,091,429円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）315,004円、ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー 日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー 豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー 米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　イーグルアイⅡー 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　イーグルアイⅡー 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　イーグルアイⅡー 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡー 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　イーグルアイⅡー 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年（2025年9月11日まで）	
運用方針	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（D R（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	- 主として、マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行ないます。 - マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
マザーファンドの運用方法	- 技術革新が進展すること、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 - ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 - 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 - 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 - 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 - 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 - 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。	

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第8期（決算日 2020年2月13日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第8期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のロボット関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00(土日祭日を除く)

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率	
	円			円	%	百万円
4 期末(2018年 2 月13日)	14,072			0	13.6	375,075
5 期末(2018年 8 月13日)	14,399			0	2.3	410,772
6 期末(2019年 2 月13日)	13,790			0	△ 4.2	361,683
7 期末(2019年 8 月13日)	13,476			0	△ 2.3	281,035
8 期末(2020年 2 月13日)	17,339			0	28.7	261,657

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

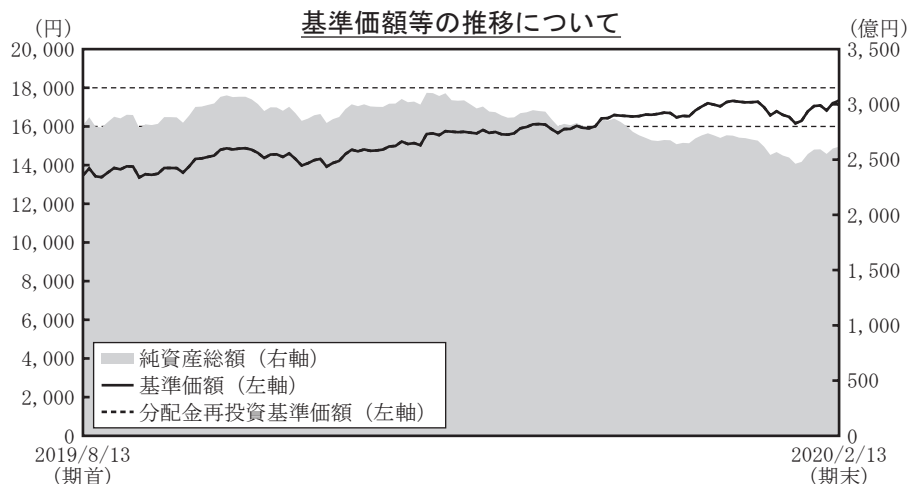
年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
(期 首) 2019年 8 月13日	円	%		%
	13,476	—		98.5
8 月末	13,851	2.8		97.6
9 月末	14,425	7.0		98.0
10月末	15,138	12.3		97.9
11月末	16,123	19.6		97.3
12月末	16,696	23.9		95.3
2020年 1 月末	16,497	22.4		98.0
(期 末) 2020年 2 月13日	17,339	28.7		98.0

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2019年8月14日～2020年2月13日）



期 首：13,476円

期 末：17,339円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：28.7%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に米国の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は値上がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初は、米国が8月に中国製品3,000億ドル相当の輸入品に関して10%の関税を9月1日から実施すると表明したことにより貿易摩擦が激化し、株式市場は下落しました。しかしその後、企業の決算発表が予想を上回る結果となったことや、米連邦準備理事会（FRB）が利下げを行ったこと、米中が貿易交渉の第1段階で合意したこと等により、グローバル株式市場は大きく上昇しました。1月の下旬より新型コロナウイルスによる肺炎の感染が拡大すると、その経済への影響が懸念されグローバル株式市場は下落しましたが、期を通じては上昇となりました。欧州では1月末に英国は欧州連合（EU）から離脱し、2020年末までの移行期間に入りました。これに伴い企業は投資計画を立て、EU圏外にある英国との将来像を描き始めることができるようになりました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の105円台から期末には109円台、ユーロ・円レートは期初の118円台から期末には119円台となりました。

期初は、米中関係の悪化を受け、リスク回避姿勢が高まったことにより、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり、米ドルとユーロに対して円高となりました。その後、好調な米国経済や米中貿易摩擦懸念の緩和等により、ドル高が進みました。期末には新型コロナウイルスの影響により再びリスク回避姿勢が高まり円高となりましたが、期と通じては、円はドルとユーロに対して円安となりました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からニューベイスブやシリコン・ラボラトリーズなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、ドイツのソフトウェア企業TeamViewer、米国のヘルステック企業ジンマー・バイオメット・ホールディングスを新規で組み入れました。一方、ストライカーによる買収を受けてライト・メディカル・グループを全額売却しました。その他、協働ロボット大手のテラデザイン、医療機器のデクスコム等、パフォーマンスが良かった銘柄を一部売却し利益を確定しました。セクター別では、大きく上昇した資本財や半導体セクターの銘柄を一部売却し、その売却代金でより魅力的なヘルスケア・セクターの既存銘柄を買い増しました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第8期
		2019年8月14日～2020年2月13日
当期分配金 (対基準価額比率)		—
		— %
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		7,338

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当運用チームでは、2020年は産業、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■1万口当たりの費用明細（2019年8月14日～2020年2月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	45円	0.289%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は15,465円です。
(投 信 会 社)	(43)	(0.275)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.003)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.021	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.021)	
そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.007)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	49	0.317	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■売買及び取引の状況（2019年8月14日～2020年2月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	—	—	70,056,998	92,850,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2019年8月14日～2020年2月13日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	152,603,340千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	292,841,060千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.52

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2019年8月14日～2020年2月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2019年8月14日～2020年2月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2020年2月13日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	251,790,074	181,733,076	261,568,416

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2020年2月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	261,568,416	99.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,413,189	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	262,981,606	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（232,190,729千円）の投資信託財産総額（278,974,696千円）に対する比率は、83.2%です。
(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.91円、1台湾ドル=3.66円、1英ポンド=142.40円、1ユーロ=119.47円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月13日現在)

■損益の状況

当期（自 2019年8月14日 至 2020年2月13日）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	262,981,606,357円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	913,189,423
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(評価額)	261,568,416,934
未 収 入 金	500,000,000
(B) 負 債	1,324,315,033
未 払 解 約 金	499,999,999
未 払 信 託 報 酬	823,717,954
そ の 他 未 払 費 用	597,080
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	261,657,291,324
元 本	150,909,152,560
次 期 繰 越 損 益 金	110,748,138,764
(D) 受 益 権 総 口 数	150,909,152,560口
1万口当り基準価額(C／D)	17,339円

1. 期首元本額208,549,294,874円
期中追加設定元本額74,474,999円
期中一部解約元本額57,714,617,313円
2. 1口当たり純資産額1.7339円

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 88,236円
受 取 利 息	15,170
支 払 利 息	△ 103,406
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	59,121,034,364
売 買 益	71,839,835,031
売 買 損	△ 12,718,800,667
(C) 信 託 報 酬 等	△ 824,324,881
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	58,296,621,247
(E) 前期繰越損益金	20,917,353,645
(F) 追加信託差損益金	31,534,163,872
(配 当 等 相 当 額)	(29,986,575,971)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,547,587,901)
(G) 計 (D＋E＋F)	110,748,138,764
次 期 繰 越 損 益 金(G)	110,748,138,764
追 加 信 託 差 損 益 金	31,534,163,872
(配 当 等 相 当 額)	(29,986,615,961)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,547,547,911)
分 配 準 備 積 立 金	79,213,974,892

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（817,126,315円）、費用控除後の有価証券等損益額（42,708,116,128円）、信託約款に規定する収益調整金（31,534,163,872円）および分配準備積立金（35,688,732,449円）より分配対象収益は110,748,138,764円（10,000口当たり7,338.73円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長を目指して運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運 用 方 法	1. 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 ロ) 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上方修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 ハ) 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。 6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ I M・グローバル・

ロボット関連株式マザーファンド

運用報告書

第 4 期（決算日：2019年 8 月13日）

（計算期間 2018年 8 月14日～2019年 8 月13日）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	株 組 入 比 式 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		
(設 定 日) 2015年12月 8 日	円	%	%	百万円
	10,000	—	—	95
1 期末(2016年 8 月15日)	7,435	△25.7	96.8	108,241
2 期末(2017年 8 月14日)	10,127	36.2	95.8	234,330
3 期末(2018年 8 月13日)	11,852	17.0	98.6	436,627
4 期末(2019年 8 月13日)	11,155	△ 5.9	98.6	298,397

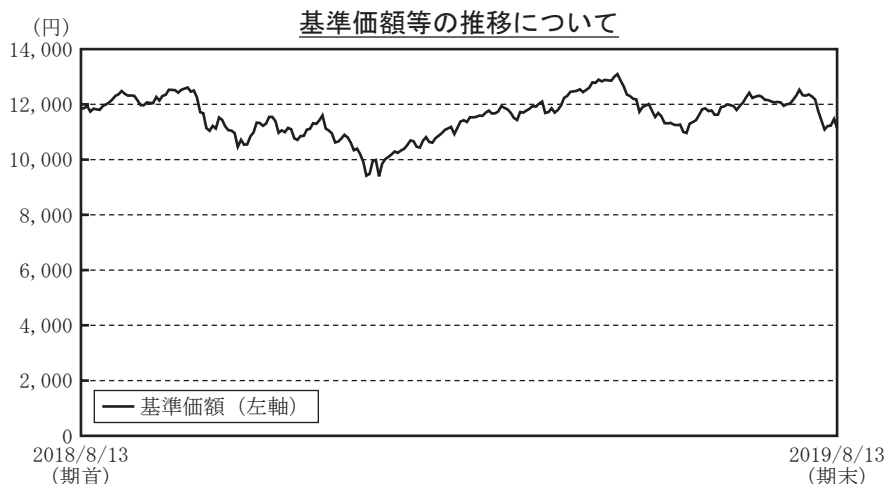
(注1) 基準価額は1万円当たり。
(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	株 組 入 比 式 率
		騰 落 率	
(期 首) 2018年 8 月13日	円	%	%
	11,852	—	98.6
8 月末	12,380	4.5	97.8
9 月末	12,530	5.7	98.0
10月末	10,844	△ 8.5	96.9
11月末	11,294	△ 4.7	97.6
12月末	9,987	△15.7	97.5
2019年 1 月末	10,775	△ 9.1	98.6
2 月末	11,673	△ 1.5	98.7
3 月末	11,797	△ 0.5	99.1
4 月末	12,868	8.6	97.1
5 月末	11,267	△ 4.9	97.6
6 月末	12,061	1.8	98.1
7 月末	12,284	3.6	98.9
(期 末) 2019年 8 月13日	11,155	△ 5.9	98.6

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2018年8月14日～2019年8月13日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に欧州と日本の保有銘柄の株価が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル金融市場は、変動の激しい展開となりました。期前半は、米連邦準備理事会（FRB）の利上げ継続姿勢や米中貿易摩擦激化への懸念に加えて、トランプ政権における相次ぐ高官の辞任、米政府機関の一部閉鎖などが影響し、12月にグローバル株式市場は大きく下落しました。1月に入ると、FRBがバランスシート縮小の早期終了の可能性や利上げに対する慎重な姿勢を示したこと、米政府機関が期限付きながら再開したこと、そして企業の決算発表が予想を上回る結果となっていることから、株式市場は大きく反発、グローバル株式市場は4月まで上昇基調で推移しました。しかし、5月に入ると米中貿易摩擦激化懸念が高まり、株式市場は急落しました。6月末に米中首脳会談が行われ、米中関係に進展が見られたことを受け、株式市場は急回復を見せましたが、8月に入ると、トランプ大統領は中国製品3,000億ドル相当の輸入品に関して10%の関税を9月1日から実施すると表明、貿易摩擦が激化し、株式市場は下落しました。欧州では、景気減速が懸念されますが、次期ECB（欧州中央銀行）総裁のラガルド氏が緩和的な金融政策を行うとの期待が市場を支えています。英国ではEU離脱（ブレグジット）強硬派のジョンソン氏が首相に就任しました。ブレグジットの期限は10月31日ですが、その動向には注視が必要です。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の111円台から期末には105円台、ユーロ・円レートは期初の126円台から期末には118円台となりました。

米ドルについては、期初は世界的な株高からリスク選好が強まったことや、欧米の債券利回りが上昇したことから、米ドル、ユーロといった主要通貨に対して円は下落しました。しかし、米中貿易摩擦の激化懸念や各

国の政治を巡る問題等で、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり、米ドルとユーロに対して円高となりました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からテラダインやライト・メディカル・グループなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、インテュイティブサージカルなどのロボット手術向けにモーション・コントロールを供給しているカナダのノバンタ、製造業や物流センター向けにマテリアルハンドリング（マテハン）機器を供給している日本のダイフクを新規で組み入れました。また、米国のアナログ・デバイセズ、アドバンスト・マイクロ・デバイセズ、オランダのNXPセミコンダクタース等、半導体企業を新規で組み入れました。一方、日本の半導体企業のルネサスエレクトロニクス、2018年に相対的に底堅いパフォーマンスを示した米国の医療機器のストライカー、米国の電気自動車メーカーのテスラを全額売却し、より有望な銘柄の買い増しを行いました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当運用チームでは、2019年は産業、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2018年8月14日～2019年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	4円 (4)	0.031% (0.031)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	2 (2)	0.015 (0.015)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	5	0.046	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は11,592円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2018年8月14日～2019年8月13日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	日 本	千株 1,080	千円 7,058,397	千株 12,049	千円 29,066,261
外 国	ア メ リ カ	百株 97,985	千米ドル 435,737 (△3,753)	百株 156,094	千米ドル 1,164,970
	台 湾	7,970	千台湾ドル 211,007	21,970	千台湾ドル 544,572
	イ ギ リ ス	13,123	千英ポンド 13,944	6,010	千英ポンド 7,224
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オ ラ ン ダ	1,425	4,807	7,125	25,279
	フ ラ ン ス	632	3,682	13,585	51,253
	ド イ ツ	4,349	22,545	17,536	78,345
	そ の 他	41,952	15,522	947	376

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切り捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2018年8月14日～2019年8月13日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	245,065,493千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	366,713,601千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.66

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄（2018年8月14日～2019年8月13日）

買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
ダイフク		968	4,600,649	4,751	ROCKWELL AUTOMATION INC		396	8,127,525	20,483
AUTODESK INC		265	4,255,183	16,004	CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP		3,340	7,622,290	2,282
ANALOG DEVICES		319	3,865,255	12,108	HOLOGIC INC		1,331	5,942,919	4,463
NXP SEMICONDUCTORS NV		378	3,792,773	10,016	XILINX INC		458	5,900,848	12,867
BLACKBERRY LTD		3,545	3,536,089	997	PARKER HANNIFIN CORP		286	5,891,274	20,543
NOVANTA INC		467	3,491,582	7,469	CISCO SYSTEMS		943	5,682,995	6,020
ADVANCED MICRO DEVICES		854	2,729,052	3,195	三菱電機		4,368	5,670,284	1,298
ANSYS INC		147	2,592,995	17,566	AMAZON.COM INC.		24	5,249,810	211,720
PTC INC		268	2,550,877	9,501	CADENCE DESIGN SYS INC		894	5,216,376	5,830
ABIOMED INC		76	2,195,243	28,677	BAIDU INC - SPON ADR		342	4,897,343	14,293

（注1）金額は受け渡し代金。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2018年8月14日～2019年8月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2018年8月14日～2019年8月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2019年8月13日現在）

(1) 国内株式

銘	柄	前期末	当期末		
		株数	評価額		
			株数	金額	額
		千株	千株	千円	
機械（27.4%）					
ナブテスコ		1,569	1,170	3,442,146	
SMC		197	147	5,761,350	
ダイフク		—	772	3,709,440	
電気機器（63.9%）					
三菱電機		4,368	—	—	
安川電機		1,711	1,276	4,220,154	
日本電産		493	368	5,046,181	
オムロン		1,171	873	4,410,670	
ルネサスエレクトロニクス		5,325	—	—	
キーエンス		223	166	10,046,610	
ファナック		442	359	6,399,175	
卸売業（8.7%）					
ミスミグループ本社		2,367	1,765	4,102,185	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	17,869 10	6,900 9	47,137,912 <15.8%>	

（注1）銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

（注2）合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

（注3）単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前 期 末	当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
NXP SEMICONDUCTORS NV	—	3,681	36,170	3,813,491	半導体・半導体製造装置
WRIGHT MEDICAL GROUP NV	19,384	15,183	31,537	3,324,954	ヘルスケア機器・サービス
ABIOMED INC	—	756	14,501	1,528,853	ヘルスケア機器・サービス
ACCELERATE DIAGNOSTICS INC	—	9,402	16,228	1,710,998	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ADVANCED MICRO DEVICES	—	8,323	26,991	2,845,746	半導体・半導体製造装置
APTIV PLC	7,260	4,121	34,025	3,587,268	自動車・自動車部品
TE CONNECTIVITY LTD	7,062	5,232	46,136	4,864,193	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALPHABET INC-CL C	995	878	103,228	10,883,414	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC.	700	483	86,386	9,107,734	小売
ANALOG DEVICES	—	2,786	30,357	3,200,574	半導体・半導体製造装置
ANSYS INC	2,115	2,736	56,648	5,972,486	ソフトウェア・サービス
APPLE INC.	4,737	2,992	59,999	6,325,742	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ASPEN TECHNOLOGY INC	4,198	3,126	42,618	4,493,288	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	2,781	4,224	62,885	6,630,004	ソフトウェア・サービス
BAIDU INC - SPON ADR	3,426	—	—	—	メディア・娯楽
BECTON DICKINSON & CO	2,794	1,646	41,011	4,323,893	ヘルスケア機器・サービス
BLACKBERRY LTD	—	30,216	20,668	2,179,039	ソフトウェア・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	18,936	9,989	68,647	7,237,462	ソフトウェア・サービス
CISCO SYSTEMS	19,948	10,509	54,168	5,710,972	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COGNEX CORP	15,463	12,478	53,671	5,658,544	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP	24,225	—	—	—	半導体・半導体製造装置
DEXCOM INC	4,974	3,887	59,058	6,226,493	ヘルスケア機器・サービス
GLOBUS MEDICAL INC-A	6,997	5,210	25,360	2,673,775	ヘルスケア機器・サービス
HOLOGIC INC	13,315	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	4,491	3,344	55,171	5,816,734	資本財
IPG PHOTONICS CORP	3,646	2,715	32,214	3,396,408	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ILLUMINA INC	2,134	1,589	46,161	4,866,801	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	1,855	1,709	87,175	9,190,935	ヘルスケア機器・サービス
LUMENTUM HOLDINGS INC	10,521	6,653	38,303	4,038,363	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	6,409	5,212	45,503	4,797,402	半導体・半導体製造装置
NOVANTA INC	—	3,815	27,124	2,859,769	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NVIDIA CORP	2,612	1,945	29,465	3,106,548	半導体・半導体製造装置
NUVASIVE INC	6,097	4,541	29,680	3,129,194	ヘルスケア機器・サービス
PTC INC	11,433	10,877	70,322	7,414,123	ソフトウェア・サービス
PARKER HANNIFIN CORP	4,530	1,662	26,852	2,831,070	資本財
QUALCOMM INC	12,936	11,862	82,797	8,729,387	半導体・半導体製造装置
ROCKWELL AUTOMATION INC	3,967	—	—	—	資本財
SILICON LABORATORIES INC	5,353	5,568	57,821	6,096,117	半導体・半導体製造装置
STRYKER CORP	2,691	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
TERADYNE INC	20,297	15,115	78,977	8,326,630	半導体・半導体製造装置
TESLA, INC.	535	—	—	—	自動車・自動車部品
TEXAS INSTRUMENTS INC	6,050	5,328	63,984	6,745,874	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	3,831	2,853	77,605	8,181,909	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘柄		前 期 末	当 期 末		業 種 等		
		株 数	株 数	評 価 額			
				外貨建金額			邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	テクノロジー・ハードウェアおよび機器 半導体・半導体製造装置 半導体・半導体製造装置	
TRIMBLE INC		20,254	16,110	59,946	6,320,175		
XILINX INC		8,105	3,519	36,310	3,828,192		
AMBARELLA INC		8,582	6,391	28,491	3,003,828		
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	305,656 39	248,685 40	1,944,213 —	204,978,403 <68.7%>		
(台湾)				千台湾ドル		半導体・半導体製造装置	
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING		91,650	77,650	1,949,015	6,548,690		
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	91,650 1	77,650 1	1,949,015 —	6,548,690 <2.2%>		
(イギリス)				千英ポンド		小売	
OCADO GROUP PLC		14,931	22,044	26,287	3,347,198		
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	14,931 1	22,044 1	26,287 —	3,347,198 <1.1%>		
(オランダ)				千ユーロ		ヘルスケア機器・サービス	
KONINKLIJKE PHILIPS NV		18,369	12,670	52,524	6,206,788		
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	18,369 1	12,670 1	52,524 —	6,206,788 <2.1%>		
(フランス)				千ユーロ		資本財 自動車・自動車部品	
SCHNEIDER ELECTRIC SE VALEO SA		6,676 10,784	4,506 —	32,927 —	3,891,023 —		
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	17,460 2	4,506 1	32,927 —	3,891,023 <1.3%>		
(ドイツ)				千ユーロ		自動車・自動車部品 資本財 資本財 半導体・半導体製造装置 資本財	
CONTINENTAL AG		2,388	1,778	19,737	2,332,401		
DUERR AG		11,256	8,382	19,137	2,261,435		
SIEMENS AG		7,183	6,010	53,264	6,294,310		
INFINEON TECHNOLOGIES AG		33,426	27,107	43,534	5,144,460		
KION GROUP AG		10,125	7,913	33,863	4,001,648		
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	64,379 5	51,192 5	169,537 —	20,034,256 <6.7%>		
(その他)				千ユーロ		資本財	
MAREL HF		—	41,005	17,263	2,039,983		
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	— —	41,005 1	17,263 —	2,039,983 <0.7%>		
ユーロ計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	100,209 8	109,374 8	272,252 —	32,172,051 <10.8%>		
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	512,448 49	457,754 50	— —	247,046,344 <82.8%>		

(注 1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注 2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注 3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注 4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 294,184,257	% 98.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,540,151	1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	299,724,408	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建資産(249,145,962千円)の投資信託財産総額(299,724,408千円)に対する比率は、83.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.43円、1台湾ドル=3.36円、1英ポンド=127.33円、1ユーロ=118.17円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	299,724,408,403円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,774,669,605
株 式(評価額)	294,184,257,240
未 収 入 金	1,638,895,935
未 収 配 当 金	126,585,623
(B) 負 債	1,327,257,941
未 払 金	527,143,398
未 払 解 約 金	800,000,000
そ の 他 未 払 費 用	114,543
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	298,397,150,462
元 本	267,501,155,254
次 期 繰 越 損 益 金	30,895,995,208
(D) 受 益 権 総 口 数	267,501,155,254口
1万口当り基準価額(C/D)	11,155円

- 期首元本額 368,413,075,965円
期中追加設定元本額 2,302,420,788円
期中一部解約元本額 103,214,341,499円
- 1口当たりの純資産額 1.1155円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) 251,790,074,675円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) 15,711,080,579円
期末元本合計 267,501,155,254円

■損益の状況

(2018年8月14日～2019年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,695,185,204円
受 取 配 当 金	3,610,050,987
受 取 利 息	70,720,558
そ の 他 収 益 金	15,603,617
支 払 利 息	△ 1,189,958
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△19,136,435,796
売 買 益	30,414,602,961
売 買 損	△49,551,038,757
(C) そ の 他 費 用	△ 53,275,837
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△15,494,526,429
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	68,214,600,926
(F) 解 約 差 損 益 金	△22,071,658,501
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	247,579,212
(H) 計 (D+E+F+G)	30,895,995,208
次 期 繰 越 損 益 金(H)	30,895,995,208

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。